#### 令和4年度学校だより 4月号



# 東の風光る

#### 歴史と文教の城下町 たかなべ

## 高鍋町立高鍋東中学校

Municipal Takanabe East Junior High School

自立の精神に燃え、広く敬愛する心をもち、たくましい創造力を発揮する生徒の育成



## 風光る

春になり、日の光がまぶしく感じられるようになると、そよそよと吹く風も、何とはなしに明るく光るものに思える。風光る・・心のはずみさえ覚える季節のことばです。

### 始業式 令和4年度スタート

7日始業式、本日いよいよ新年度がスタートしました。新2年生106名、新3年生87名、それぞれの目標に向かって有意義な一年を過ごしてほしいと思います。

昨年度3学期修了式での生徒代表の言葉を紹介します。

1年代表

私は、3学期に二つの目標を立てました。何事にも 全力で取り組むということと、1学年のスローガンで ある「106人106色~1人1人が主人公の学年~」を 達成するということです。

この3学期を振り返ると、私は勉強にやる気が出ず、 学年末テストの結果もあまり良くありませんでした。 それで、授業態度を見直し、私語をなくし授業に専念 するようにしたり、学習時間を毎日3~4時間に増や すなどの工夫をし、第3回パワーアップコンテストで は満点をとることができました。このことから何事に も全力で取り組むということが大切だと分かりました。

1学年委員会では、学級での良いところ、悪いところをさがし、帰りの会で発表する取組を行いました。 良いところもたくさんありましたが、悪いところもたくさんありましたが、良いところであれば、 さん見つけました。例えば、良いところであれば、 ゴミを拾ったりした人がいたり、発表をしていた人が 多かったり、無言給食ができていたなどがありました。 悪いところでは、授業中の私語や休み時間に暴れている それらの意見を踏まえている 受業中では関係ない話をしないようにしたり、休 着に は、次の準備やトイレ、水飲みを済ました。 方にしました。 クラスの全員が改善しようとは 力し合うとほめられることが多くなりました。 も うとはのお手本となる姿になるよう成長しようと思います。

この二つの反省を生かし、先輩としてのふさわしい 姿や、これまでの伝統を受け継いで守っていけるよう な行動をしようと思います。

#### 人事異動

春の人事異動にともない今回16名の教職員が本校から転出しました。

先日の離任式においては、どの教職員も「素晴らしい高鍋東中学校で勤務できたことは大変良かった。」 「高鍋東中生の強みは、3つの伝統活動をしっかり

「局輌界甲生の強みは、3つの伝統活動をしつかり 守っていることだ。そのために学年が上がるごとに本 当に素晴らしい姿を見せてくれた。」等々の言葉を残 されて転出されました。

今回15名の教職員が着任されました。平均年齢もずいぶん下がり、パワー全開で生徒との出会いを待ち望んでいました。

これからの1年間、全39名の教職員で一人一人の 生徒の成長を支援していきます。どうぞよろしくお願 いいたします。







#### 令和3年度を振り返ると

令和3年度において、多くの生徒たちの成長の姿を見ることができました。卒業式においても感慨深いものがありました。様々なことがありましたが一人一人の成長した姿を見ることができるのは教師冥利に尽き、正直大変喜んでいるところです。

しかしながら多くの反省点もあります。コロナ禍の中、保護者の方々、地域の方々との直接的な会話が激減しており、意思疎通の難しさを感じた1年でもありました。どのような方法で学校としての思いをお伝えすればいいのか、正直、保護者の方々、地域の方々においてはご不満な点、ご迷惑をかけた点も多々あったことだと思っています。細かいことでも学校としてのミスや至らなさもあったことだと思います。そのような点を広く受け止めていただきご対応いただき大変有り難うございました。

令和4年度がスタートしました。再度、以前「教育課程審議会」から出された言葉を念頭に職員一丸となって生徒たちの明るい未来のために努めていきたいと思います。

#### ~学校・教師の存在価値を考える~

○学校は子どもたちにとって伸び伸びと過ごせる楽しい場でなければならない。○子どもたちが自分の興味・関心のあることにじっくり取り組めるゆとりがなければならない。○分かりやすい授業が展開され、分からないことが自然に分からないと言え、学習につまずいたり、試行錯誤したりすることが当然のこととして受け入れられる学校でなければならない。○その基盤として、子どもたちの好ましい人間関係や子どもたちと教師との信頼関係が確立し、学級の雰囲気も温かく、子どもたちが安心して自分の力を発揮できるような場でなければならない。○このような教育環境の中で、教科の授業だけでなく、学校のすべての生活を通して、自分がかけがえのない一人の人間として大切にされ、頼りにされていることを実感できるようでなければならない。